

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-93707

(43)公開日 平成4年(1992)8月14日

(51)Int.Cl. ³	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
F 01 M 11/00		W 8109-3G		
	13/00	F 8109-3G		
F 02 B 63/02		7049-3G		
F 02 F 7/00	3 0 2	Z 7616-3G		
F 02 M 37/12		B 7049-3G		

審査請求 未請求 請求項の数3(全3頁)

(21)出願番号 実願平2-405793

(22)出願日 平成2年(1990)12月29日

(71)出願人 000006943
リヨービ株式会社
広島県府中市日崎町762番地

(72)考案者 今川 洋一
東京都千代田区外神田3-15-1 リヨービ株式会社内

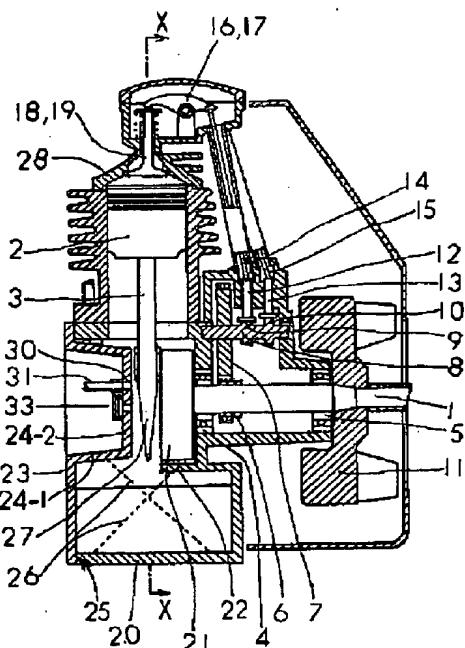
(74)代理人 弁理士 長屋 文雄

(54)【考案の名称】 携帯型作業機用機関におけるクランク室

(57)【要約】

【目的】 傾斜運転してもカウンタウエイトによる潤滑材の過剰な搅拌による発熱等を生ずることなく、また、膜弁式気化器を利用することができる4サイクル携帯型作業機用機関を得る。

【構成】 片持クランク軸のカウンタウエイトの直下にリブ22を横設し、クランク室本体20内に回転面状壁面24-1と回転面状の壁面の側壁部24-2とを有するクランク室本体カバー23を設ける。また、クランク室本体の上部には飛沫潤滑材をシリンダヘッド潤滑路に送るための連絡口を設け、更に、上記側壁部にブリーザと気化器脈動圧取出口を設けた。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 クランク室本体内の片持クランク軸のカウンタウエイトに接近する位置にリブを設け、また、クランク軸の回転軸芯に沿って路同心とし、クランク室本体内に突出した略回転面状の壁面と、該壁面の突出先端の側壁部とをクランク室本体カバーに凹設してなることを特徴とする携帯型作業機用機関におけるクランク室。

【請求項2】 クランク室本体カバーにクランク室本体内へ突出した略回転面状の壁面とクランク室本体内壁によって形成される通路内に、クランク室内に供給した潤滑油が飛沫となつたものをシリンダヘッドへの潤滑通路へ送るべき連絡口を配設したことを特徴とする請求項1記載の携帯型作業機用機関におけるクランク室。

【請求項3】 クランク室本体カバーへ突出した側壁部に、ブリーザと気化器駆動脈動圧取出口とを設けたことを特徴とする請求項1又は2記載の携帯型作業機用機関におけるクランク室。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本案のクランク室を使用した作業機用機関の縦断面図である。

【図2】 図1におけるX-X断面図である。

【図3】 従来の4サイクル機関の縦断面図である。

【図4】 図3の側断面図である。

【図5】 従来の2サイクル機関の縦断面図である。

【符号の説明】

1 クランク軸

2 ピストン

3 連接棒

4 軸受

5 軸受

6 クランク歯車

7 カム歯車

8 回転軸

9 吸気カム

10 排気カム

11 フライホイール

12 タベット

13 タベット

14 ブッシュロッド

15 ブッシュロッド

16 ロッカーアーム

17 ロッカーアーム

18、19 吸排気弁

20 クランク室本体

21 カウンタウエイト

22 リブ

23 クランク室本体カバー

24-1 回転面状の壁面

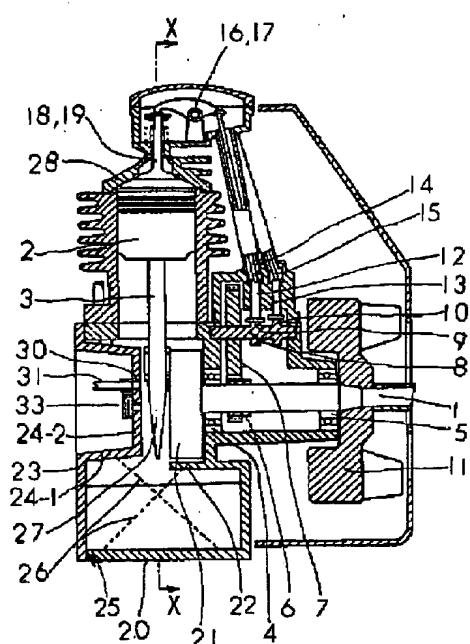
24-2 回転面状の側面の側壁部

291 連絡口

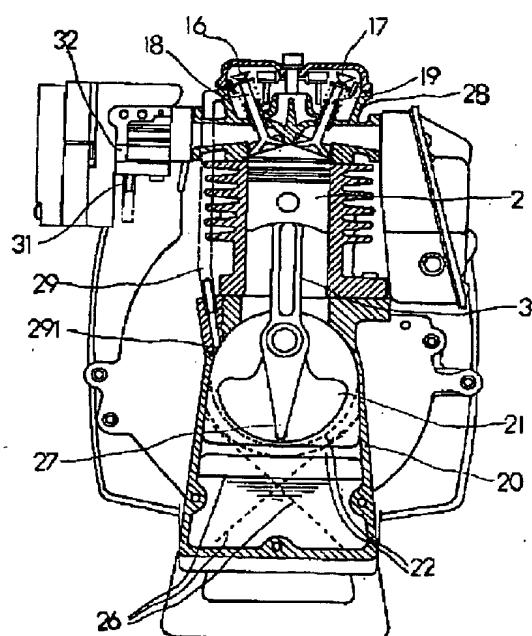
30 脈動圧取出し口

33 ブリーザ

【図1】



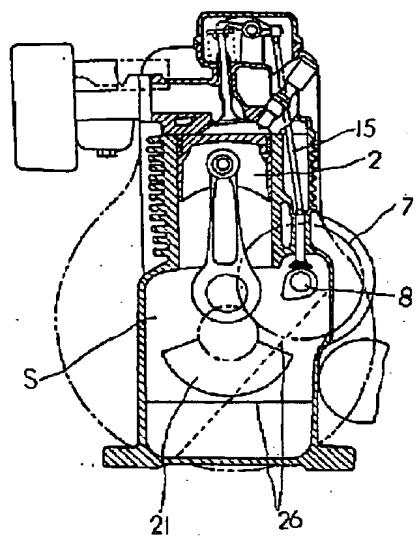
【図2】



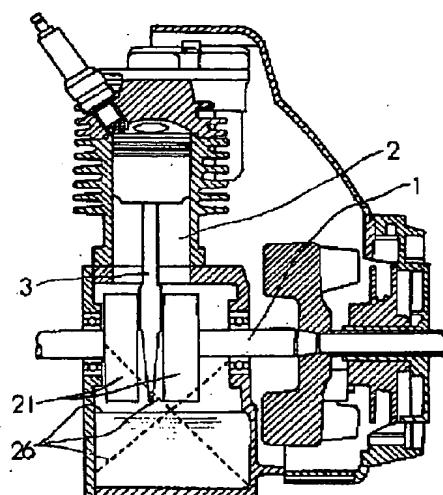
(3)

実開平4-93707

【図3】



【図4】



【図5】

